



保健センターだより

エックス線検査は怖くない

診療放射線技師
福本 力

毎年8月に入ると、広島市、長崎市で原爆慰霊祭が開催されます。

半世紀以上経った現在も、実際に戦争を体験した人と共に、大戦を知らない世代の人達も、数多くの犠牲者に黙祷を捧げています。

人類で日本国だけが、原子爆弾による直接の被害を受け、又、水素爆弾の実験によって、「死の灰」等間接の被害を受けたのも日本人です。

このような背景から、誰もが放射能、放射線（X線）に対して敏感になっています。その一つの例が、茨城県東海村で起きた核燃料施設の臨界事故で発生した「放射線被曝」です。この時、「放射線障害と放射線線量」の問題が大きくクローズアップされました。

これは我々人間が防げた事故「人災」だったからです。

〔臨海とは、核分裂が連続して起き、中性子（高い放射線）が発生する。〕

最近では、電力会社の各原子力発電所に於ける「原子炉不良箇所の点検記録改ざん問題」があからさまになり、国民の殆どから「原子力」への信頼を失墜させてしまいました。

放射線は、光の仲間、目に見えず、感じることも出来ません。しかし、物質を透過する能力を持っており、この事が良い面では、医療、歯科用X線検査や工業用非破壊検査で利用されています。

以上お話ししたことは、人間が作り出している放射線、すなわち「人工放射線」と呼んでいます。これに対して、我々を取り巻く自然界に存在する「自然放射線」があります。自然放射線には、宇宙から飛んでくる宇宙線や大地に含

まれている放射性物質（カリウムやウラン等）から出る放射線そして人体内に水や食物によって吸収された放射性物質による体内からの放射線があります。

人間にとって最も大切なことは、「健康であること」です。これを維持する為に「定期健康診断」があります。これは法律で義務づけられており、学生諸氏には春に、教職員諸氏には秋に、それぞれ実施されております。この時に必ず「胸部X線検査」が有ります。

「放射線(X線)」という文字がありますと「体に悪影響が？」と、特に、女性はとても敏感です。しかし、全く「不安無し」なのです。

我が国の医療は、世界的に見ても群を抜いていることは周知の通りです。

X線撮影には、X線フィルムが使用されています。その感度は非常に高く、人工放射線の線量（X線の強さ）は、非常に少なくて済みます。

胸部X線検査1回での放射線線量（X線の強さ）は、皆様、1年間に浴びる自然界の「自然放射線」の20分の1、又、東京からニューヨークへ飛行機で行く時に浴びる自然放射線線量（宇宙線）とほぼ同じ量なのです。別表に示しますように、一般のX線撮影で使用される1回の放射線線量は、我々人間が1年間に自然界から受ける放射線線量と比べても少なく、身体に影響が現れることはありません。

CT検査、消化管（食道や胃腸等）撮影の複数部分の検査を受けても、限定した部分撮影（不必要な部分は、X線を遮断しています。）であり身体への影響や障害を心配する必要はありません。

皆様がX線検査を受ける時に、診療側から色々注意事項やお願い事をしております。残念ながら、約一割の方々は、ネックレス、金具やボタンの付いた下着、プリントシャツ、湿布等うっかり外さないまま、検査を受けようとされています。このまま撮影をしてしまった場合、再撮影となりX線線量が2倍になってしまい

ます。

胸部X線検査に限らず、全てのX線検査は、指示通り受診されれば、決して怖くありません。むしろ早期に色々な疾病が発見され、その効果は、被爆されるリスクよりも計り知れない程皆様のお役に立っております。

(参考)

- * 国連科学委員会 (ICRP) による
年間 (全身) の最大許容被曝線量 : 50mSv (ミリシーベルト)
(現在、将来ともに健康を損なう恐れがない線量。)
- * 胸部X線撮影 (1回) : 0.10 mSv 以下
- * 胃部X線撮影 (8~10回) : 2.00 mSv 以下
- * 日本において年間に浴びる
自然放射線線量 (平均) : 2.40 mSv

(内訳)

- 宇宙からの自然放射線線量 : 1.65 mSv
- 大地からの自然放射線線量 : 0.40 mSv
- 体内からの自然放射線線量 : 0.35 mSv

学生定期健康診断

学校保健法は、「学校における保健管理及び安全管理に関し必要な事項を定め、学生並びに教職員の健康の保持増進を図り、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする」と定めています。

本学では、この法に則り、毎年4月の中旬に学生定期健康診断を実施しています。

したがって、大学は年に1回の定期健康診断の「実施」を、学生諸君は定期健康診断の「受診」が義務づけられています。

受診状況は、1998年度に69.7%と底値でしたが、1999年度72.5%、2000年度75.8%、2001年度77.3%、2002年度78.8%と年々増加しています。特に2・3年生が著しく増加しています。

健康診断で発見される病気には、結核・気管支炎等の「呼吸器疾患」や不整脈・心雑音等の「循環器疾患」、蛋白尿・血尿・腎炎等の「腎疾患」、肥満による脂肪肝・糖尿病・高脂血症等の「内分泌・代謝疾患」等があります。なかでも結核は、人から人へ感染する我が国最大の感染症で、今でも1日120人が「発病」しています。結核に「感染」すると、すぐに「発病」する場合がありますが、免疫力・抵抗力の低下により「発病」する場合があります。

未受診の学生で病気の発見や治療が遅れ、気づいたときには、回復したい段階まで進行し、休学を余儀なくされるケースもあり、本人はもとより家族や友人に迷惑がかかる場合もあります。

また、大学で発行する健康診断証明書 (特に就職用) は、この健康診断を基に作成します。未受診で発行されないケースの場合は、外部医療機関を受診し、余分な時間と高い証明書料を支払うこととなります。

年1回の「健康確認」のため、毎学年受診しましょう。

2003年度定期健康診断について

1. 定期健康診断について

定期健康診断は、学校保健法に基づき年一度キャンパス別に次頁の日程で実施します。在学生全員が、該当する健康診断日時に以下の事項を注意のうえ、必ず受診してください。

- (1)定期健康診断は、この期間以外一切行いません。
- (2)定期健康診断を受けないと、
 - ①授業等で必要な臨時健康診断は、受診できません。
 - ②就職・奨学金・留学・スポーツ大会・アルバイト等に必要な「健康診断証明書」の発行はできません。外部医療機関での健康診断は、高額負担になります。
- (3)結果については、「二次検査が必要な方」のみ通知します。

2. 受診上の注意事項

- (1)学生証・ボールペン・鉛筆を持参してください。
- (2)貴重品は、持参しないでください。衣類等は、袋を持参し自己の責任で管理してください。
- (3)メガネ・コンタクトレンズを使用している方は必ず装着し、検査を受けてください。視力は、0.7以上に矯正しておいてください。
- (4)ネックレスや金具のついた下着は、レントゲン診断の障害になるので着用しないでください。無地のTシャツの着用を勧めます。

3. 就職用健康診断証明書の申込について

就職活動等で健康診断証明書を必要とする4年生以上の方は、当日の健康診断終了後に申込みを受け付けます。受付場所は、会場出口に掲示します。

なお、切手90円分（会場でも販売）郵送料および証明書1通につき100円の本学手数料証紙（10通分は、1000円証紙）を用意してください。

4. 健康診断証明書の発行について

定期健康診断受診者を対象に発行します。発行は、準備の都合上5月初旬になります。

保健センター

多摩キャンパス	0426-74-2756
後楽園キャンパス	03-3817-1722
市ヶ谷キャンパス	03-5368-3503

以上

2003年学生定期健康診断日程

1. 多摩キャンパス (法・経済・商・文・総合政策)

会場		多摩校舎		8号館		8302号室	
会場 受付 時間	一部 (昼)・フレックスコース	女子	一部 (昼)・フレックスコース	男子	二部 (夜) 大学院	男子・女子 男子・女子	17:00～18:10
4月1日 (火)	法 (全) 4年以上 経済 (全) 3年	商 (全) 3年 商 (全) 2年	法 (政治) 4年以上 商 (全) 3年	法 (法律・国企) 4年以上	文 (全) 4年以上 法・経済・商 (全) 5年以上	文 (全) 4年以上 法・経済・商 (全) 5年以上	
4月2日 (水)	経済 (全) 4年以上 法 (全) 3年 総政 (全) 2年	文 (全) 3年	経済 (全) 4年以上	法 (全) 2年	大学院 法・経済・商 (全)		
4月3日 (木)	文 (全) 4年以上 総政 (全) 3年	商 (全) 4年以上 総政 (全) 4年以上	商 (全) 4年以上 総政 (全) 4年以上	法 (全) 3年	大学院 文・総政 (全)		
4月4日 (金)	法 (全) 1年 商 (会計) 1年	商 (経営・貿易・金融) 1年	法 (法律) 1年	法 (国企・政治) 1年 商 (貿易・金融) 1年			
4月7日 (月)	経済 (全) 2年 文 (全) 2年	法 (全) 2年	経済 (全) 2年	経済 (全) 3年 総政 (全) 3年	商 (全) 2年		
4月8日 (火)	文 (全) 1年 総政 (全) 1年 科目等履修生・その他	経済 (全) 1年 学士入学生・編入学生・ 選科生・研究生・その他	経済 (国経・公経) 1年 総政 (全) 1年 科目等履修生・選科生・ 研究生・その他	経済 (経済・産経) 1年 学士入学生・編入学生	文 (全) 1年		

2. 後菜園キャンパス (理工・市ヶ谷)

会場		理工学部校舎				6号館		6402号室	
会場 受付 時間	一部 (昼)・大学院	男子	一部 (昼)・大学院	女子	二部 (夜) 大学院	男子・女子 男子・女子	17:00～18:00 女子 17:00～17:40		
4月9日 (水)	物理・土木・応化	1年	数学・精密 理工大学院	1年	全学科 4年以上 全学科 1年 理工大学院 (全)	全学科 4年以上 全学科 1年 理工大学院 (全)			
4月10日 (木)	電気・経工・情報	1年	数学・物理・土木・精密・ 電気 応化	2年	精密・電気・経工・情報 3年 学士入学生・科目等履修 生 研究生	全学科 2年 全学科 3年 学士入学生・科目等履修 生 研究生			市ヶ谷キャンパス大学院 (法・経済・総政・国会計)

健康記録カードの提出について

健康記録カードは、学生諸君の在学中の健康診断記録及び診療の際に参考にする重要な「カード」です。

健康記録カードは、定期健康診断終了時に提出する事になっていましたが、未提出者は下記の手続きを行ってください。

なお、未提出のまま放置すると、就職・奨学金・留学等で必要な健康診断証明書は発行できません。

記

1. 提出場所 多摩キャンパス2号館2階 保健センター事務室
後楽園キャンパス1号館1階 保健センター理工学部分室
2. 提出に際しての注意
 - ① 健康記録カードA面及びB面の必要事項をすべて記入すること。
 - ② 健康記録カードA面の「尿検査・血圧」は、医療機関で証明を受けること。

お知らせ

二次検査について

保健センターでは、健康で充実した学生生活をおくるため、該当する学生に対して、循環器、腎・泌尿器、呼吸器、内分泌・代謝と系統別に分類し、尿・血圧・心電図・胸部X線などの二次検査を実施しています。

この検査は、病気の予防、早期発見・治療のため必要とするものです。

本年度については、5月15日に実施した検査をもって終了しました。

保健センターで指定した日時に検査を受けていない学生については、外部医療機関にて検査を受けるよう通知します。

なお、外部医療機関での検査には、紹介状・報告書など必要書類があるので保健センターに来所して説明を受けてください。